

伝統のタコ漁具に親近感【水高記者DIARY】2月21日

地域 島根

2024/4/1 (最終更新: 2024/4/2)

島根県水産練習船「神海丸」に乗り込み、ハワイ沖で実習に取り組む浜田水産高(同県浜田市)海洋技術科2年生、関蒼太朗さん(17)=広島市中区出身=が船上の日々を記します。



ミュージアムに展示してあったタコ用ルアー

2月21日 北緯21度59分 西経157度53分



浜田出港後33日目。今日私が向かったのはビショップミュージアムという博物館です。ハワイの生態系や地理、歴史などについて深く学ぶことができます。

複数の棟があり、私が最初に入ったのは子ども向けの科学館。しかし、内容は幼稚なものではなく、視覚的な展示と平易な英語で要点を分かりやすくまとめており、英語が得意ではない私でも難なく理解できました。

メインの展示があるのはハワイ王国時代の建物を利用した棟。入ってしばらく歩くと中央ホールに出ます。目の前に現れたのは多くの魚の剥製、さらには巨大なマッコウクジラの模型でした。その迫

力は、思わずため息が出るほど。この模型は裏に回ると本物の骨格標本になっています。

館内の展示はどれも興味深く、できるなら覚えているすべてを書き出してしまいたいのですが、今回はぐっところえて、一つ印象に残っている物を書いておきます。

ハワイの伝統的な漁業に関する展示の一角に、それはありました。仕組みはとても単純で、棒にタカラガイの貝殻と、骨のフックがついただけ。最初は何に使うのかと思いましたが、説明の「Octopus Lure (タコ用ルアー)」という文字を見た時、思い出しました。それは日本のテンヤという仕掛け。同じようにタコを引っかけて捕ります。まさかハワイにテンヤがあるとは。そこから急に親近感が沸いた気がします。

明日はいよいよホノルル最終日。神海丸は日本の三崎港に向けて出港します。私たちの長い船旅も残り20日少々。この時間を無駄にすることのないよう気を引き締めていきたいです。(浜田水産高海洋技術科2年・関蒼太郎)